

2019年度JKA補助事業(グループホームの建築)について、2回目の自己評価を行ってください。

・提出期限：2021年1月29日(金)

・提出先：p2019hyoka@keirin-autorace.or.jp

## 《2019年度JKA補助事業 自己評価書(2回目) 記入のしかた・記入例について》

\* **青字部分**は記入例です。記入の際、参考にしてください。

\* **水色箇所**は記入箇所、**ピンク色の項目**は選択肢の中からひとつを選択していただく項目、**緑色の項目**は複数選択可の選択項目となります。

\* 以下の【記入にあたっての注意点】もご一読のうえ、ご記入ください。

### 2019年度自己評価書(2回目) 様式・記入例 ↓

### 【記入にあたっての注意点】

補助事業番号	2019P-	補助事業者名	社会福祉法人〇〇〇会	補助事業名	障害者グループホームの建築補助事業
--------	--------	--------	------------	-------	-------------------

  

2019年度 JKA補助事業 自己評価書(2回目)								
作成年月日	2021	年	1	月	25	日	作成者	競輪 太郎

  

1. JKA補助 建築について(補助事業で整備された施設についてご記入下さい。)

施設の種類	障害者グループホーム				
建築施設名	グループホーム〇〇〇	構造	鉄筋コンクリート造2階建て		
建築施設の所在地	東京都港区港南一丁目2番70号	延床面積	321.54	m <sup>2</sup>	
建築した施設の形態	<input checked="" type="radio"/> 法人にとって初のグループホーム <input type="radio"/> 既存施設老朽化のため建て替え <input type="radio"/> 複数棟目のグループホーム				
建築した施設の特長	女性専用のグループホームであり、よりプライバシーに配慮したグループホームとなった。 掃除、洗濯、入浴、食事を暮らしながら学べる施設であり、またユニット形式を採用し、1階、2階にそれぞれ居間、食堂、台所、洗面所、浴室、洗濯コーナー、シャワー室、トイレを完備し、利用者が安心して生活を送れる施設である。				

◆補助事業番号、補助事業者名(法人名)を記入してください。

◆作成日、作成者を記入してください。

◆今回建築したグループホームの施設名を記入してください。また、その施設の所在地(住所)も記入してください。

◆「構造」欄には、今回建築したグループホームの建物の構造(例:鉄筋コンクリート造2階建て 等)を記入してください。  
「延床面積」欄には、今回建築したグループホームの延床面積(m<sup>2</sup>)を記入してください。  
(※小数点以下2桁まで。それ以降は四捨五入されます。)

◆あてはまるものをひとつ選択してください。

◆今回建築したグループホームの特長(特に優れている点やアピールポイントなど)を記入してください。

利用開始日		2020	年	4	月	1	日
	運用月	入居者数(人)	稼働率 (入居者/定員)	稼働率 (入居者/見込み)			
1	2020年1月		0.0%	0.0%			
2	2020年2月		0.0%	0.0%			
3	2020年3月		0.0%	0.0%			
4	2020年4月	7	70.0%	70.0%			
5	2020年5月	8	80.0%	80.0%			
6	2020年6月	8	80.0%	80.0%			
7	2020年7月	8	80.0%	80.0%			
8	2020年8月	9	90.0%	90.0%			
9	2020年9月	9	90.0%	90.0%			
10	2020年10月	10	100.0%	100.0%			
11	2020年11月	10	100.0%	100.0%			
12	2020年12月	10	100.0%	100.0%			
月平均		8.78	87.78%	87.78%			

定員	男性	女性	合計
		10	10
入居見込み		10	10

★2020年1月現在で定員割れのある場合は、その理由をご記入下さい。

④

- ◆① 今回建築したグループホームの利用を開始した日にちを記入してください。
- ◆② 今回建築したグループホームに入居している人数を記入してください。  
※稼働率(入居者/定員、入居者/見込み)については自動計算となりますので入力不要です。
- ◆③ 今回建築したグループホームの定員数を男性・女性それぞれ記入してください。(合計は自動計算となります。)  
また、「入居見込み欄」には、定員合計数のうち何名の入居が見込まれているか、その数を記入してください。
- ◆④ 2020年1月時点で、入居者が定員より少ない場合は、その理由を記入してください。  
また、今後入居者数が増える予定がある場合は、その詳細も記入してください。

★利用者の障害の種類と障害程度区分、年齢区分について教えて下さい。(複数選択可)

<障害種類>
☒ 身体障害
☐ 知的障害
☐ 精神障害

<障害程度区分>
☐ 非該当
☐ 区分1
☐ 区分2
☐ 区分3
☐ 区分4
☐ 区分5
☐ 区分6

<年齢区分>
☐ 10代
☒ 20代
☐ 30代
☐ 40代
☐ 50代
☐ 60代以上

★施設の利用料金等について教えて下さい。

家賃 35,000 円  
食費 23,000 円  
光熱水費 8,000 円  
その他※ 1,500 円  
合計 67,500 円

☒ 家賃に特定障害者特別給付を  
☒ 含む ☐ 含まない  
※その他の内訳及び特記事項  

日用品費

※利用者の毎月の収入について、差しさわりのない範囲で教えて下さい。

公的年金等 80,000 円  
公的手当等 10,000 円  
工賃等の賃金 5,000 円  
その他

70,000 円

- ◆今回建築したグループホームの利用料金について記入してください。(合計金額は自動計算になりますので記入不要です。)  
「その他※」がある場合は、その詳細等を右側の「※その他内訳及び特記事項」に記入してください。

- ◆どちらかあてはまるほうを選択してください。

- ◆今回建築したグループホームの利用者の毎月の収入について、差しさわりのない範囲で記入してください。  
差しさわりのある場合は記入不要です。

- ◆複数選択可です。施設の利用者としてあてはまるものすべてにチェックをしてください。

2. 以下の評価項目について、ご記入下さい。

a. 個別の評価項目について、交付誓約書添付の『事前計画／自己評価書(3/5) 4. 補助事業の事前計画』の、達成状況等を把握し、ご記入下さい。  
○採点基準については、2019年度補助事業実施に関する事務手続要領『別冊評価要領』スコアリングガイドをご参照下さい。

(1) 受益者 (ニーズ)	この地域には、グループホームが少なく、慣れ親しんだ地域で生活するのが難しかったが、今回新たにグループホームを開業したこと、地域で暮らしたいという障害者のニーズに応えることができた。 また、交通の利便性の高い場所に建てることができたことにより、より生活しやすいグループホームにすることができた。	採点
(2) 事業内容	<div> <div>事業の新規性 または 継続の必要性</div> <div>これまで当法人では男性専用及び男女用のグループホームのみを所有していたが、今回女性専用のグループホームを開業できた。この地域で初めての女性専用のグループホームであり、よりプライバシーに配慮した施設になり、これまで以上に利用者に安心して生活してもらうことができたようになった。</div> </div> <div> <div>事業の発展性</div> <div>障害者本人が地域で生活でき、近所の方とのふれあいをもつことで地域住民の認識も高まり、少しずつではあるが障害者に対する理解が進んできたと思われる。</div> </div>	採点
(3) 達成目標	<div>事業の成果・波及</div> <div>※自己評価1回目から変化があった場合に記入ください。</div> <div>入居者数 10人</div>	125%
	利用開始後すぐは7～8名の入居者であったが、その後見学者等も複数あり、利用開始半年後には定員である10名の入居者となった。	

- ◆1回目の自己評価の際と同様に、事前計画／自己評価書(3/5)の目標に対し、どれだけ達成できたかを記入してください。  
採点欄については、別シートのスコアリングガイドを参照の上、採点してください。

- ◆(3)達成目標については、1回目の自己評価時から達成状況などに変化があった場合、変化があった後(現在)の状況について記入してください。  
**!! 注意 !!** 達成状況のパーセンテージについては、1回目の自己評価時との比較ではなく、事前計画／自己評価書(3/5)記入の内容と比較して算出してください。

b. 交付誓約書添付の『事前計画／自己評価書(2／5) 3. 補助事業実施の必要性(1)補助事業が最終的に目指すこと』の、達成状況をご記入下さい。

今回のグループホーム開設により、一定数の入居待機者を受け入れることができ、特にひとり親家庭などの支援は概ね達成できたと思われる。また、住み慣れた地域でより長く生活できるようにするための拠点となることができた。居住の場と日中活動の支援を合わせ、入居者一人ひとりが、地域で豊かな生活を送り始めると同時に、法人全体、広くは地域全体で温かく見守りながら、彼ら彼女らを支えていける仕組みづくりを徐々に築き始めることができた。今後も地域の人々の理解が一層進み、より障害者が地域で生活しやすくなるような活動を行っていきたい。

◆事前計画／自己評価書(2／5)の「最終的に目指すこと」に対して、現時点での達成状況を記入してください。

### 3. この施設に対する施設利用者及びご家族の声を記入下さい。

・入浴と食事、門限など時間のルールがあることで生活リズムが保てている。  
・職員の方も話を聞いてくれ、安心して暮らすことができる。  
・入居した頃は掃除が苦手だったが、世話人の方にやり方を教わりながら一緒にやったことで出来るようになった。  
・家庭ではどうしても手が離せない時や緊急時などは特に負担が大きかったが、グループホームに入れたことで家族の負担も減り、本人も仲間と一緒に安心して過ごすことができているようよかった。

◆今回建築したグループホームに入居しての感想など、施設利用者の声及び施設利用者ご家族の声を記入してください。

### 4.この施設に対する施設職員の声を記入下さい。

・設備も使いやすく、利用者だけでなくスタッフも支援しやすい環境で助かっている。  
・これまで以上に地域の方など周囲の障害者に対する理解が得られるようになったと感じる。  
・働きやすく、利用者の方とも楽しく過ごせている。

◆今回建築したグループホームに関わる施設職員の声を記入してください。

### 5. グループホーム整備に関する計画を教えてください。

☆この施設の整備後に、さらにグループホームを建築する予定はありますか。

☒ ある ☐ ない

☆地域に別の事業者の運営している同様の障害者グループホームはありますか。

☐ ある ☒ ない

◆ それぞれあてはまるほうを選択してください。

☆上記1.「建築した施設の形態」において、「複数棟目のグループホーム」または「既存施設の老朽化のため建て替え」を選択した場合にご回答下さい。

①現在、所有しているグループホーム

3

棟

◆「1. JKA補助事業 建築について」の「建築した施設の形態」において、「複数棟目」または「建て替え」を選択した場合、今回建築したグループホームを含む、法人全体で現在所有しているグループホームの数を記入してください。

②この施設を整備中または整備後に新たにグループホームを建築しましたか。

☐ 建築した ☐ 建築していない

### 6. 施設のオープンについて、ホームページ・新聞等に公表した実績を教えてください。(自己評価書の「事業成果の公表の方法」により成果を公表したもの、また、それ以外でマスコミ等の取材を受けた実績等があれば、ご記入下さい。)

当法人ホームページに施設の詳細をJKA補助事業の旨、掲載した。  
〇〇新聞(2020年〇月〇日)に掲載された。

◆今回建築したグループホームについて、新聞や雑誌、テレビやラジオ等メディアで紹介された事例があれば記入してください。特になければ「特になし」と記入してください。

### 7. この施設について客観的な立場から論評できる人(法人の監事、行政の福祉担当者、大学の先生等の有識者等)のコメントを自由にご記入下さい。(できるだけ2名以上、論評者及びコメントを記載して下さい。)

今回のグループホーム開設により、障害者自身が住み慣れた地域で安心して暮らせる住まいを確保するとともに、女性専用のグループホームということで倫理面を満たすなど、優れた障害者福祉サービスの提供を実現できる施設となっている。また、障害者に対するグループホームが不足し、入居待ちがある現状を少しでも解消し、地域のニーズに応える施設として、今後も連携を深め、障害者福祉を推進していきたい。(〇〇市 福祉支援課)

◆施設の職員等ではなく、法人の監事や行政の福祉担当者、大学の先生等の有識者等のコメントを記入してください。

利用者が地域の活動(町内で行う防災行事や清掃活動など)にも積極的に参加している。また、地域住民との交流会をグループホームで実施し、相互理解を図っているなど大いに評価できる。(法人 監事)

**8. 障害者グループホームを取り巻く状況や課題をお聞かせ下さい。**

定員分すべて入居となった後も、入居希望の問い合わせがあるなど、地域からのニーズも高く、依然として施設が不足している状態が続いていると思われる。このニーズに応えるためには新たに施設を開設する必要があるが、土地や費用などの課題も多い。  
重度の方を対象としたグループホームを希望する声もある。  
障害者が親元を離れて自立した生活を営むには、地域住民の理解と支援が必要であるため、相互理解を深めることが重要となる。

◆障害者グループホームの現状や課題、また、福祉・介護業界等での問題点や課題等を記入してください。  
なお、国の施策、それに対する影響等がありましたら併せて記入してください。

**9. その他、施設に関する特記事項、上記1～8についての補足やJKAに対するご要望等ございましたらご自由にご記入下さい。**

グループホームに対するニーズは高いが、法人単独での整備が困難な状況であるため、今後もグループホームに対する補助を続けてほしい。

◆この自己評価の補足や、JKAに対する要望等を記入してください。

以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入頂いた1及び3の内容については、JKA補助事業ホームページ等でご紹介させて頂く予定です。  
写真付きで紹介させていただく場合、これまでJKAにご提供頂いた写真(「補助事業概要の広報資料」「補助広報テンプレート(短冊型)」等)を利用させて頂く予定ですが、新たにご提供頂ける写真がございましたら、メール添付にてご送付下さい。

【建築(障害者グループホーム)】